

第 47 回全国学童保育指導員学校・西日本・愛知会場（20220605）レポート

【クラブ】（ たけのこクラブ ）

【名 前】（ 米本 美紀 ）

①午後に参加した講座のタイトルをお書きください。

（7）講座（№123） （保護者に生活を伝え、考え合う）

※全体講座のみに参加された方は、全体講座のタイトルをお書きください。№と選んだ理由は必要ありません。

②この講座を選んだ理由をお書きください。

子ども達の保育報告をどこまで保護者に伝えるべきか日々保育の現場の中で思うことがあり、他の学童でも同じように保育報告に悩む時もあるのでないか？また、そういった場合の判断に迷った時にはどうしているのか？を聞いてみたくてこの講座を選びました。

③本日の講座で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

ある学童での実践記録からグループワークで意見を出し合い、発表する流れでした。実践記録の中で一番同感した内容は、子ども同士のトラブルをどこまで保護者に伝えるべきか？保護者が学童での生活を知りたいのは当たり前のことですし、子どもの生活を伝えることにより保護者と指導員との信頼関係が生まれます。でも子どもと指導員の信頼関係も大切で、時には子どもから「お迎えで今日の事言わないで」と頼まれた言葉に指導員は考えます。伝えておくべき内容か？今回は伝えないでいい内容か？指導員も保護者に対して苦手意識があると、どうしても会話を遠ざけてしまいその結果、保護者（父親）から不信感を抱かせてしまい、信頼関係を築けなかったという内容でした。やはり、どの現場でも保護者への報告は頭を抱える時もあるんだと感じました。トラブル後にケガもなく、特に引きずる様子もなければ大丈夫かな？とか子ども達もまた、全てを報告されてしまうのは窮屈になってしまうのではないかと子どもとの「お迎えで言わないで」の約束も守らなければ子どもとの関係も崩れてしまい、「本当はどうしたい」の声を聞けることはできなくなるので難しいなと感じました。良いことは沢山伝えてあげたいと思いますが、マイナスになってしまうことはどこまで報告すべきか、日々悩みます。

グループワークでも、やはりどこまで報告をするべきか悩むという意見が多く、フレンドリーな関係を築けていれば話しやすいなど、でも全家庭の保護者とフレンドリーな関係を築くことはとても難しい。苦手な保護者とはなかなか話しにくいと感じてしまうのは指導員としてダメだという意見もあり、どの意見も共感を持てるグループワークでした。保育報告の際に悩んでしまうのは自分だけではないと少し安心できた自分と、苦手とする保護者との距離感を縮める努力もしなければならないと改めて思うことができた時間でした。

※提出されたレポートは、当会の広報誌やホームページに掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、6/18（土）です。常勤専任指導員に手渡し、または okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。